

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第62回日本植物生理学会年会
演題名	シロイヌナズナ傷害応答遺伝子の発現と接ぎ木接着に対する麻酔処理の影響
発表者	○平山 朔也 ¹ ※, <u>佐藤 良介</u> ² , <u>柴田 恭美</u> ² , 陽川 憲 ⁴ , 佐藤 忍 ⁵ , <u>朝比奈 雅志</u> ^{1,2,3} (1: 帝京大・院・総合理工 2: 帝京大・理工・バイオ, 3: 帝京大・先端機器分析セ, 4: 北見工業大・工, 5: 筑波大・生命環境)
内容	我々はこれまでに、シロイヌナズナ胚軸を用いた接ぎ木過程では、オーキシシンによって誘導されるANAC071・ANAC096・ANAC011転写因子が、組織癒合における細胞分裂に重要な役割を担っていることを報告している。また、ジャスモン酸とRAP2.6L転写因子は、胚軸接ぎ木においては細胞分裂・増殖に直接関与していないことを明らかとしているが、傷害応答が接ぎ木接着に与える影響については不明な点が多い。本研究では、傷害応答関連遺伝子や植物ホルモン、シロイヌナズナの胚軸間接ぎ木に与える麻酔処理の影響について検討した。